

非営利法人ニュース

2020年
10月号
Vol. 89



発行 公益総研 非営利法人総合研究所
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

【1】「シャンティ奨学基金」

『関西2府4県の大学文系女子学生向け奨学金！』

- 応募資格：大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県の大学の文系学部にて在籍する四年生大学の2回生または3回生の女子学生
- 募集期間：2021年1月末日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は1名を採用します
- 給付等：年額50万円を支給します。

【2】「中村道子奨学金」

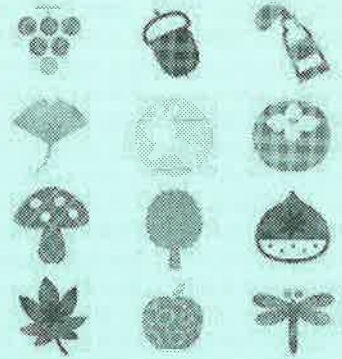
『介護福祉士を目指し専門学校へ進学する高校3年生対象』

- 応募資格：2021年3月卒業見込みの高校3年生
2021年4月に一都三県（東京・神奈川・千葉・埼玉）の介護福祉士を目指す専門学校へ現役で進学すること
- 募集期間：2020年11月30日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は3名程度を採用します
- 給付等：専門学校2年間（24か月）、年額50万円を支給します

【3】「逸男記念 再チャレンジ奨学金！」

『一度進んだ道を軌道修正して再チャレンジしたいが、
経済的理由により困難な学生向け』

- 応募資格：医療・福祉・看護に関係する大学又は専門学校に進学
- 募集期間：2021年1月12日まで（当日消印有効）
- 採用人数：2021年度の奨学生は3名程度を採用します
- 給付等：大学（専門学校）在学中 年額60万円（合計240万迄）を支給します



◎情報満載！今月のもくじ◎

奨学金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

☆奨学金応募先等☆

【1】【2】【3】奨学金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先

〒105-0004
東京都港区新橋6-7-9
新橋アイランドビル2階
(公財)公益推進協会
担当 高野宛

- ・シャンティ奨学基金
- ・中村道子奨学金
- ・逸男記念再チャレンジ奨学金

お問い合わせ

03-5425-4201

(問合せ対応時間:平日10時~18時)

※詳しくは、財団ホームページ（<https://kosuikyo.com/>）をご覧ください、
申込書等はHPよりダウンロードし、必要事項を記入して提出してください

※奨学金、助成金情報はリンクフリーですので、ご自由にリンクしていただき情報提供をお願いいたします

「大学とは一人で学ぶ場なのか？」

公益総研株式会社 主席研究員兼CEO
公益財団法人公益推進協会 代表理事
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也



「現在、私の一日のパソコン使用時間は10時間を超えています。睡眠時間を削り、評価のための課題をこなすためだけに読書をする。目も肩も腰も手も心も限界です。受験以降一度もキャンパスに入れず、友達ができない。朝起きて向き合うのはパソコン。ひとりぼっちの部屋。私はなんのために大学に入ったのでしょうか——。

これは、今年7月、ツイッター上に書かれた大学生からの静かな叫びなのだが、この叫び声には、3万件を超える大学生の「怒りと絶望と落胆の声」が寄せられたのである。特に多かったのは、1年生で、中にはその父母からの声もあった。

わかる。そりゃそうだ！！夢を抱いて憧れの大学生活に突入した途端、まるで内職のような生活なんだもん。つまらないし、疲れるし、ほんと嫌になっちゃうよね～

さらにこんな叫びも・・・特に多かった叫びは「オンライン授業の質の低さと、課題の異常な多さ」なのだ。中には「出席確認の代わりに毎回課題が出るため、1日に5～6個の課題を解かなければならない」とか、「提出した課題に教授からのリアクションが全くない」とか、「講義への質問をしたところ逆切れされた」とか、「教授が授業に遅刻する」「90分の予定の授業が10分で終わる」「最初の授業で、教授から期末までに提出するレポートの課題がメールで届いたが、その後授業そのものがない」という、教員のやる気を疑うようなものもある。

ふざけるな！！本当にひどい大学とひどい先生のオンパレードじゃないか！！

ちょっと待ったあ！！先生からも言わせてよ～

私も、いよいよ自分の授業（後期）が始まったが、最後まで全部オンラインと大学に指定され、慣れないZOOM授業で面食らっているのだ！！

しかも、会社のZOOM会議と違い、顔を出さず生徒は一人もいないから、こっちは誰に話しかけているのかもわからないし、当てないと誰も質問一つしてこない。「ミュート」の嵐だ！！真っ暗な闇の中で、一人でパソコンに向かって話している自分の姿は、まるで夢遊病者のようで、恐らくこんな私の姿を、オンライン会議などを知らない年配の人が見たら、きっと「とうとう頭に来ちゃったのかねえ、あの人」なんて思うに違いない！つまり、やる方もやりたくてやっているのではないのだ！！

まだ、私はパソコンを毎日使う生活なので、そこそこ上手にやっているが、パソコンなど使ったことの無い先生はどうしているのだろう・・・。きっと、先述の叫びのように、課題漬けとか怠慢授業の嵐なのだろうか・・・他の先生のやり方も、大学に行かないので全く分からない。

まあ、きっと1年が終わったら、「誰でも簡単、ZOOMの授業！」とか「オンラインで相手の心をつかむ100の方法」なんて本が出てきて、皆慣れてくるだろうが。

でも、オンライン授業の乱発で、最も心配なのが、特に1年生を苦しめている「友人が全くできない」ことだろう。会社でも同様なが、オンラインで支障なく仕事ができるのは、それまでにオフラインで築いた人間関係や信頼感があるからであって、一度も対面で会ったことがない相手と信頼関係や友人関係を築くのは当然無理だろう。憧れの大学生活が、一人ぼっちの牢獄と化しているのではないだろうか？

小中高校生は、学校が部活動も含め再開され、近隣の繁華街ではサラリーマンが飲み屋にあふれ、なおかつGo Toトラベルキャンペーンが始まって、観光地にもぎわう昨今。なぜ大学生だけが緊急事態宣言下のような生活をいつまでも続けなければならないのだろうか。教員の側からも大学に抗議したいくらいだ。（してないけど・・・）

学生のメンタルはもう限界！いや、先生のメンタルももう限界だ！！

もちろん、大学の言い分もわかる。高校生以下と違って、成人した学生が放課後にコンパやら飲み会と称して、感染リスクの高い近隣の繁華街に行くことを大学側は制限できず、きっとすぐにクラスターが発生してしまうのだろう。後期になり、一部対面の授業も再開されているが、まだまだ少ないようだ。友人もつくれぬ孤独な状況の中、大量の課題をこなす忙しさからの睡眠不足で増え、鬱症状や体調不良を訴える学生が増えているようで、休学や退学も例年の数倍に膨れ上がっているのも事実だ。これじゃまるで通信教育のようだが、学費は通常通りという大学がほとんどである。そりゃ、学費の減免や返還運動が起きてもおかしくないだろう。こういう非常事態の時は、先生の給料も半分に、学費も半分にあげて欲しい。

大学というのは学ぶだけの場所ではない。いや、我々世代は、大学は学ぶ場所ではなく、出会いや情報交換の場所であったはずだ。キャンパスに集まり学ぶことのおかげがえのなさがこれで皆分かったであろう。

東京オリンピックも縮小版だがやると決めたんだし、野球もサッカーも競馬も観客が入れるようになったのだから、大学もぜひWEB授業のシステム作りさらに力を入れようとせず、自己責任であることを前提に、対面授業をすべて再開し、学生の笑い声の聞こえる場所を作ってあげて欲しい。

え？？ただ、お前がオンライン授業で笑いが取れないからだろうって？？

いや、笑いはきっと取っているだろうけど、笑い声がまったく聞こえないから、まるで新人漫才師のように「すべっている」ようで辛いのだ(笑)

.....CEOコラムバックナンバーはこちらから→ https://www.iva.jp/nposouken/ceo_column.html

編集後記

先日国立西洋美術館で美術展をみてきました。この半年間なかなか動きずらく、そういう気持ちにもなれずにいましたが、行ってみると思ったよりリラックスして「芸術の秋」を堪能出来ました。事前に予約をしたり、当日も様々な制限の中での鑑賞でしたが、それが逆にいい作用？にもなったようで、アイコンタクトで場所を譲り合う等一緒にいた皆さんと一体感があったり、私自身いつもよりも真剣に様々な角度から鑑賞出来ても楽しかったです。まだまだ不便さを感じる生活ではありますが、ちょっと見方を変え状況を受け入れながら過ごしたいなと思います。

(りんご)